



安心して暮らせる  
賃上げを勝ち取ろう

国労東日本本部は、「2014年度年末手当についての申し入れ」を行いました。申し入れ内容については、3・5ヶ月分の統一要求に加え、業績見合分、5才以上の社員減額見合、若年層社員への配慮から5万円を上乗せして支払うよう求めました。

JR東日本の2014年度第2四半期決算が10月28日に公表されました。決算のポイントは、連結・単体ともに3期連続した増収増益で、第2四半期決算としては連結の営業収益及び連結・単体の経常利益・四半期純利益は過去最高となりました。また、単体の

鉄道営業収入は、7月～9月までの3カ月間、7月の定期収入での減を除きすべて前年度を上回る収入をあげた結果、鉄道運輸収入の増に大きく寄与しました。

一方、私たちの社員の賃金はどうでしょうか。6年ぶりの引き上げが実施されたとはいえ、極めて低水準であることから、物価上昇や消費税増税の影響に相殺されてしまい、結果として実質目減りが解消されていません。更にここ数年の期末手当の削減によって、預貯金を切り崩している生活実態が恒常化しており、職場では多くの不平・不満を募らせています。

国労は、内部留保金をわずか0・0195%取り崩すだけで、申し入れ要求額を指しました。JR職場に働くすべての労働者へ還元すべきと求めています。

# 国労水戸

## 基準内賃金3・5ヶ月+5万円要求

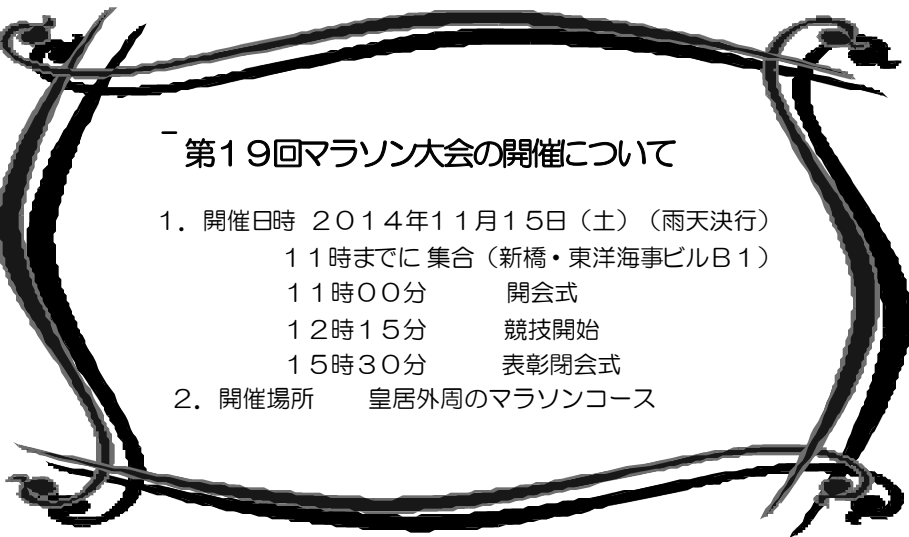
### 東本部が10/21年末手当申し入れ

国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
ENYビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 塚原良雄  
編集責任者 坂本公則

## 増加する「内部留保金」3.5兆円

JR東日本会社の内部留保金は増え続けています。  
※内部留保金⇒利益準備金(221億円)+資本準備金(966億円)+剰余金(15,230億円)+退職引当金(5,948億円)+貸倒引当金×0.5(8,705億円)+減価償却費×0.2(13,316億円)=35,468.705億円  
で≠3.5兆円となります。

※年末手当3.5ヶ月分原資⇒683億7340万円  
ちなみに、2013年度年末手当3.11ヶ月分は618億5630万円との対比では、3.5ヶ月分との差額は65億1710万円で、内部留保のうち、わずか0.0018%上積で十分可能です。



### 第19回マラソン大会の開催について

- 開催日時 2014年11月15日(土)(雨天決行)  
11時までに集合(新橋・東洋海事ビルB1)  
11時00分 開会式  
12時15分 競技開始  
15時30分 表彰閉会式
- 開催場所 皇居外周のマラソンコース

職場・地域の活動に自信を持ち、引き続き、組織拡大に全力をあげよう!

来年は消費税増税が計画されており、仮に予定通り10%への引き上げが実施されれば、仮に年末手当の満額獲得、2015年春闘時の賃上げがあったとしても、相殺されてしまうことは火を見るより明らかです。日本経済に与える影響は大きくJR東日本は社会的責任を果たすべきです。

株式会社JR東日本ステーションサービスに「2014年度年末手当についての申し入れ」を行う  
国労東日本本部は11月4日、株式会社JR東日本ステーションサービス(以下、JESS)に対し、「2014年度年末手当についての申し入れ」(国労東日本申第8号2014年10月31日付)を提出しました。  
また、他のグループ会社関係では、ジェイアールバス関東株式会社(以下、バス関東)に対して10月21日に提出しました。また、同じくバス東北株式会社(以下、バス東北)に対しては10月27日、また貨物関係では、株式会社ジェイアール貨物・信州ロジスティクス(信州ロジ)に対しては「2014年度年末手当に関する要請について」を10月21日に提出しました。